

平成 28 年度農業青年組織等活動活性化事業

(地域青年農業者等グループ活動活性化助成)

事業主体名 KEファーマーズ

1 目的

他の茶産地が取り組んできた、釜炒り茶や玉露、てん茶など多様な茶種を視察し、厳しい茶業情勢でも、経営や産地の発展に有効な手段を検討する。

また、九州内の農業経営者・後継者との交流によって、九州茶業の現状や先端情報を共有できるネットワークづくりにつとめる。



2 実施状況

(1) 茶業青年との情報交換を実施

九州茶業青年の会（参加者 200 人）に参加。

「G I 認証」の八女伝統本玉露を生産する生産者から国際見本市などの反応を得た。輸出に取り組む会員らは、熱心に情報交換を行い、今後の商談への参考とした。



(2) 新品種・先端技術情報の収集

九州茶業研究大会（大分県杵築市）への参加。

さえあかり（日本茶らしい緑の濃い品種）、つゆひか（病気などに強く、輸出や有機栽培にも向いている）、サンルージュ（赤色に呈色するなど、多様な品種を見学。

品種の多様性が1つの課題解決手法になればと、今後の導入を前向きに検討する。

てん茶炉やドラム式萎ちよう機の仕組みや使用法についての説明を受けた。

海外で、てん茶の需要が大きいことや、国がてん茶の生産量を倍増する計画のため、導入に向けて参考になった。

3 今後の課題、取り組み

多様な茶種の製造に向け、県に協力をもらいながら烏龍茶や紅茶の製造研修を行いたいと考えている。

また、青年プロジェクトとして、小売り用の輸出茶製造を検討しており、県内の外国人が集まる場（マリンポート、鹿児島空港など）で販売・普及したい。

